

阪南市下水道事業経営戦略策定について

阪南市事業部下水道課

1 経営戦略について

各公営企業が、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画。10年以上の将来にわたる投資と財源の収支計画を含む。
また、総務省が各自治体の地方公営企業に対し、令和2年度末までの策定を要請している。

2 本市の課題

事業年数と普及率	本市の下水道事業は府内でも事業年数が浅く、普及率が低く、今後の整備費用は相当額が必要。
有収水量の減少	下水道の新設を行っているが人口減少・高齢化等の影響で有収水量（下水道使用量）は減少。
施設の老朽化	大規模開発地から移管を受けた施設があり、老朽化が進み、将来の改築更新費用の増加が懸念される。
厳しい財政事情	公営企業会計一般会計の財政状況も厳しく繰入金への依存が厳しくなるなか、本市下水道事業を今後どのように進めていくかは本市の大きな課題。

阪南市下水道事業経営戦略

3 阪南市下水道事業経営戦略策定審議会について

目的	下水道事業を将来にわたって安定的に継続していくための中長期的な基本計画となる経営戦略を策定するため、地方自治法第138条の4第3項にもとづく附属機関として位置づけ、条例により設置する。
事務局	阪南市事業部下水道課
構成	学識経験のある者及び市民から合わせて5人（敬称略） 下村泰彦・鋤田泰子・川原尚子・米田伊津雄・寺田雄揮
スケジュール等	令和2年度中 4回程度開催予定（資料4参照）